



特別展

常設展示特集展

特別展
学んで、旅して、たのしむ
浮世絵のしむ

2023
前期 9.2(土)▷10.1(日)
後期 10.4(水)▷10.29(日)

会場 石巻市博物館 企画展示室 (〒986-0032 石巻市開成1-8)
観覧時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日 (休館日・祝祭日を除く)、10/3 展示替え休業 (休館日・祝祭日を除く)
観覧料 一般800円 高校生500円 小中学生400円
※20名以上の団体は2割引

石巻市博物館
〒986-0032 石巻市開成1-8 TEL:0225-98-4831
FAX:0225-98-4832
休館日 月曜日 (休館日・祝祭日を除く)、10/3 展示替え休業 (休館日・祝祭日を除く)
観覧料 一般800円 高校生500円 小中学生400円
※20名以上の団体は2割引

「東海道五十三次」をはじめとした風景画の名手、「歌川広重」。浮世絵師として名をはせ、その名とともに錦絵が、江戸時代から昭和まで継承されました。西洋画家に影響与えた構図と、「ヒロシゲブルー」とまで称された「群青」をぜひご覧ください。

広重メモ
「安藤広重」の名を知っている方もいらっしゃると思います。実際、周りからは呼ばれていたみたいですが、本人が名乗ったことはないようです。ちなみに、「安藤」は本姓、「広重」は雅号で、組み合わせる使うのは不適切だそうです。

関東大震災発生から100年。石巻出身の弁護士 布施辰治の活動の記録を公開。

第一回布施辰治特集展
布施辰治と関東大震災

百年前の被災地で何が起きていたのか！

一九二三年(大正十二年)九月一日に発生した関東大震災から今年で百周年を迎える。関東大震災による死者行方不明者は一〇万人以上、関東一帯に甚大な被害を与えた。のみならず、被災地ではこの大震災に関連した深刻な問題が起きていた。石巻市博物館では関東大震災に対処した郷土の先人弁護士布施辰治の活動を、前後期に分けて紹介する。前期展示では被災地で発生した様々な事件の真相解明に向けた活動を、後期展示では、関東大震災で住む家を失った被災者たちへの支援活動をテーマとする。

布施辰治法律事務所メンバー
中央列右から二番目が布施辰治

借家人問題で演壇に立つ布施辰治

会期：
前期展示：2023年9月1日(金)~10月31日(火)
後期展示：11月1日(水)~2024年1月8日(月)

会場：石巻市博物館 常設展示室
「石巻にゆかりの先人たち」コーナー

時間：午前9時~午後5時(入館受付は午後4時30分まで) 月曜日休館

観覧料：一般300円 高校生200円 小・中学生100円
※20名以上の団体は2割引

旧観慶丸商店展示

常設展示からの一コマ

旧観慶丸商店常設展
浅井元義スケッチ展
門脇・旧魚市場の風景

昔懐かしい石巻の風景をお楽しみ下さい

※第二回の企画も進行中です！

変わりゆく石巻の風景を描いた画家浅井元義さんのスケッチをテーマを替えながら展示します

第一回目の展示テーマは
門脇・旧魚市場の風景です

石巻市博物館にて保管している漆塗り、門脇や津にあり、かつて描いた旧魚市場を9点選びました

「海の三部作」
石巻市出身彫刻家 高橋英吉



仙台藩初代藩主 伊達政宗が発給した文書に押された判子。昔の人の印は、意外とおしゃれだと思いませんか。是非博物館で、探してみてください。

政宗ブーム到来!?

毛利コレクションをご存知でしょうか？石巻の収集家 故毛利総七郎氏が形成した、約13万点ものコレクションは現在博物館に収蔵され、調査整理を行っております。その中にこれまで知られていなかった、伊達政宗の書状が見つかり、メディアの取材攻勢にあっています。伊達政宗とは皆さんご存知、仙台藩主です。ゲームなどで描かれる戦国武将キャラとしては、アイパッチ(眼帯)が特徴的で、クールでカッコいい武将として位置づけられることが多いです。伊達の黒船といわれる、サンファンパウティスタ号を建造し、遠くローマに出向するなど、広い視野の持ち主でもありました。新たに見つかった伊達政宗の書状は、今後の毛利コレクション特集展の中で、お披露目を考えていますので、ぜひ楽しみに。

休館日は月曜日・休日の場合はその翌日です。

不定期となりますが、本紙配信を希望の方は右記のメールに「配信希望」と記載し送信ください。



石巻市博物館

e-mail: culcenter@city.ishinomaki.lg.jp

編集者のひとこと

最近、「ゴールデンカムイ」を読み直しています。人間って単純だなあと。なぜかといいますと、先般アイヌ資料の調査に、専門家が来館され、その資料を間近で見ました。装飾の美しさ、形のカッコよさに気づきまして。(博物館勤務の特権です。マイセン) もちろん、ゴールデンカムイはフィクションの漫画です。実際のアイヌ文化の中に、砂金を争って、死んだはずの、新選組土方副長が登場するなどありえませんが、それはさておき、アイヌ資料見てみたいと思いませんか？(前振り?)
(誤字脱字等ご容赦願います。) TM

